

日本語文化研究会第11回コロキウム開催のご案内

政策研究大学院大学・国際交流基金日本語国際センター連携による「日本語教育指導者養成プログラム（修士課程）」と「日本語文化研究プログラム（博士課程）」は、両プログラムの在籍学生・修了生並びに関係教員によって「日本語文化研究会」を運営しております。本研究会は、論集の作成や発表会の開催など、様々な活動を行っており、この度、第11回コロキウムを開催することとなりました。皆様のご参加をお待ちしております。

* * * * *

■ 日 時：2015年7月8日（水）14：00～16：00

講 演 … 14：00～15：30

質疑応答 … 15：30～16：00

■ 場 所：政策研究大学院大学（六本木）研究会室4A（4階）

■ タイトル：

「生きることの問い直しとしての「評価」—自己と他者を知るための手がかりとして—」

■ 使用言語：日本語

■ 講演者：

東京大学大学院 総合文化研究科言語情報科学専攻 准教授 宇佐美洋先生

東京大学大学院 総合文化研究科言語情報科学専攻 准教授

博士(日本語学・日本語教育学)(名古屋外国語大学大学院)

新潟大学専任講師、国立国語研究所研究員・准教授等を歴任後、現職。

政策研究大学院大学においても多数の大学院生の論文指導に当たる。

専門は評価論・言語能力論・コミュニケーション教育。

●主な執筆物

『「非母語話者の日本語」は、どのように評価されているか—評価プロセスの多様性を捉えることの意義』

(日本語教育学の新潮流7) ココ出版(2014)

「分断から統合へー人間同士の協働を目指す「専門日本語教育」ー」

『専門日本語教育研究』 (16) 3-8 (2014)

「やさしい日本語」を書く際の配慮・工夫の多様なあり方」

(庵功雄・イ ヨンスク・森篤嗣 編) 『「やさしい日本語」は何を目指すか』

ココ出版, 第12章 219-236 (2013)

「インドネシア語話者による日本語の長短母音の習得に関する調査ー聞き取り・読み上げ発話・自然発話のデータからー」

ナヨアン, フランキー R.・横山紀子・磯村一弘・宇佐美洋・久保田美子

『音声研究』 16(2) 28-39 (2012)

「外国実行頻度からみた「外国人が日本で行う行動」の再分類ー「生活のための日本語」全国調査からー」

『日本語教育』 (144) 145-156 (2010)

「文章の評価観点に基づく評価者グルーピングの試みー学習者が書いた日本語手紙文を対象としてー」

『日本語教育』 (147) 112-119 (2010)

「学習者の日本語運用に対する、日常生活の中での評価：個人の「評価観」の問い直しのために必要なこと」

『日本言語文化研究会論集』, (4), 19-30 (2008)

■ 参加申込：お名前と所属機関を明記の上、7月3日（金）17時までにメールにて下記までお申し込みください。

【日本語文化研究会 事務局】

担当：渡辺(政策研究大学院大学)

Tel: 03-6439-6044

E-mail: jlc-ml@grips.ac.jp